



4Kブレット セキュリティカメラ

顔認識付き

取扱説明書

1 紹介

顔認識付きスワン4Kプレートセキュリティカメラのご購入おめでとうございます。

- 犯罪のコストを削減し、家、オフィス、中小企業&小売店に合わせて、この堅牢な弾丸カメラで何が起きているかを知る
- 顔、ナンバープレート、パッケージを見て、最先端の4K Ultra HDでオーディオをキャプチャし、強力なデジタルズームで1080pよりも4倍クリアです - あなたがものを見逃すことはありません
- スワンの真の検出熱&モーションベースのPIR検出は、信頼性の高いプッシュ通知と少ない偽トリガーで、確実に&レコード活動をキャプチャします。顔認識ソフトウェアを使用すると、子供などの特定の人を識別して、自宅の安全を警告することができます

重要な手順

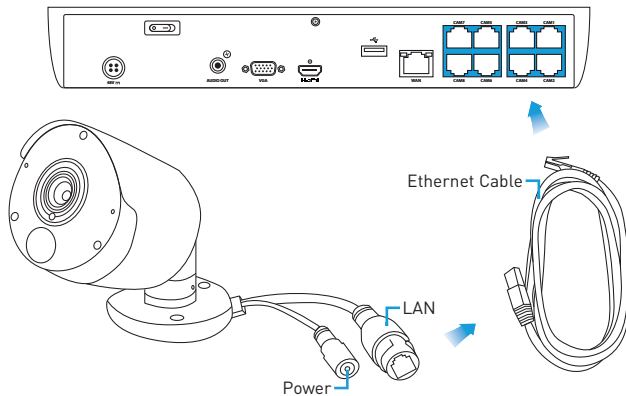
1. 所定の位置に固定されている場合は、カメラが正しく固定され、安定していることを確認します。
2. ネットワークケーブル接続にいかなる種類の負担も置かなくしないでください。イーサネット ポートにクリップするように設計されていますが、重量をサポートせず、破損する可能性があります。
3. ワイヤと端子が露出している場合は動作しないでください。


重要:すべての管轄区域には、カメラの使用に関する特定の法律があります。任意の目的のために任意のカメラを使用する前に、カメラの使用を制限するすべての適用される法律や規制を認識することは、購入者の責任です。

本マニュアルについて:本書の内容は情報提供のみを目的としており、予告なしに変更されることがあります。

2 カメラを接続する

カメラをNVRに接続するには、付属のイーサネットケーブルをカメラのLAN接続に接続し、ケーブルのもう一方の端をNVR背面のカメラ入力に差し込みます。



 必要に応じて、電源コネクタが代替電源オプションとして提供されます。NVRは、接続時にイーサネットケーブル経由で電力を供給し、別の電源アダプタは必要ありません。

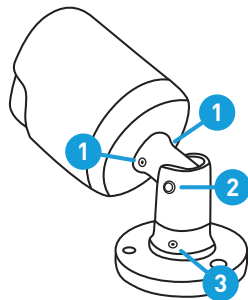
3 カメラを設置する

カメラは付属のネジと壁プラグを使用して平らな面に取り付けることができます。サーフェスには、カメラを保持するのに十分な強度が必要です。

- カメラを取り付ける位置にカメラを配置し、表面のねじ穴にマークを付けます(取り付けテンプレートが含まれています)。次に、カメラを固定するサーフェスに適切なネジを使用して、カメラを所定の場所に固定します。
- 木製の表面に取り付ける場合は、カメラを直接サーフェスにねじ込みます。
- 石積み面(レンガ、コンクリートなど)に取り付ける場合は、壁栓を使用する必要があります。

カメラを目指して

1. 両方のネジを緩めて(アレンキーを使用)、カメラの向きを調整します。これにより、カメラが向いている方向に関係なく、画像が正しい方向になるようにカメラを回転できます。各ネジを締めて所定の場所に固定します。
2. ネジを緩めてカメラを上下に傾けます。ネジを締めて所定の場所に固定します。
3. カメラを左右にパンするには、ネジを緩め、それに応じて位置を調整します。ネジを締めて所定の場所に固定します。



4 カメラ設置場所のヒント

1. 監視対象物とそれがもっともよく映る場所を検討します。
2. 監視システムへのカメラのつなぎ方をどうするか。ケーブルと接続端子を外気にさらさなようにしてください。
3. カメラを安全な場所に設置するには。カメラを高い場所に設置することをお勧めします。
4. カメラが撮影対象にできるだけ近くなるようにします。最適なのは高さ約4mの場所で、細部まで映るように気を付けながら少し見下ろす角度で取り付けます。
5. カメラのライブ映像を見たときにきれいな空が映っているようでは、カメラが近づいている侵入者の方を向いていません。逆光で映像が暗くなる可能性があるため、映像に映りこむ空は最小限になるようにします。
6. あなたの自宅の侵入者が最も入りやすい経路を考えて、その経路が映るようにカメラを設置します。
7. カメラのケースはあらゆる気象条件に耐えることができ、耐タンパー性もあります。ただし、極めて強い力が加わったときにケースが破損する可能性があります。
8. カメラには耐候性や耐水性がありますが、直射日光や多湿などの悪条件に長時間さらすと、カメラの内部部品が破損したり、パフォーマンスが低下する恐れがあります。
9. ケーブルは壁の窪みまたは保護ケースを通し、すべての配線および接続端子に水が当たらないように保護します。
10. 通電中の配線の近くにケーブルを敷設しないでください。AC電流が電波「雑音」を生成し、カメラの信号と干渉が生じる可能性があります。

5 限定保証 - 規約

スワン・コミュニケーションズは、本製品の材料または仕上がりの欠陥に対して最初の購入日から1年間保証します。保証の妥当性を確認するため、購入の証明として領収書を提示する必要があります。上記の期間中に欠陥があることが判明したユニットは、スワンの独自の判断により、部品や労働コストを請求することなく修理するか、別の製品と交換します。エンドユーザーは、スワンの修理センターに製品を送るために発生した全ての運送料を負担するものとします。また、エンドユーザーは、居住国以外の国から発送、または返送する際に発生した全ての送料を負担するものとします。

本保証は、本製品の使用または使用できないことから生じる偶発的、付随的または派生的な損害について保証するものではありません。店員または他の人物による本製品の取り付けや取り外しに伴う全ての費用、あるいは本製品の使用に関するその他の費用はエンドユーザーの負担となります。本保証は、本製品の最初の購入者のみに適用され、第三者に譲渡することはできません。権限を持たないエンドユーザーまたは第三者がコンポーネントに変更を加えた場合、全ての保証が無効となります。一部の国では、本保証にある特定の除外に関する制限が法律によって禁止されています。現地の法律に適用される場合、規制および法的権利が優先されます。

オーストラリア: 当社の製品は、オーストラリア消費者法に基づいて除外できない保証が付与されています。本製品の重大な故障やその他の合理的に予測可能な紛失や破損の補償に対して、製品の交換または返金を受けることができます。また、製品が許容できる品質でない場合、製品を修理または交換できる権利があります。

6 FCCの検証

本機器は、FCC規則のパート15に基づく検査を受け、クラスAデジタル装置の制限に準拠することが認められています。これらの制限は、住宅に機器を設置する際の有害な電波障害から適切に保護することを目的としています。本機器は、無線周波数帯域のエネルギーを発生、利用し、外部に放射する可能性があります。取扱説明書の指示に従って設置および利用しない場合、ラジオやテレビの受信に有害な電波障害を引き起こすおそれがあります。本機器の電源のオン/オフを切り替えることにより、これらの受信に有害な電波障害をもたらしていると判断される場合、ユーザーは電波障害を是正するために次の対策を講じてください：

- 受信アンテナの方向や位置を変える
- 機器と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する
- 販売店またはラジオ/テレビの技術者に相談する

これらの機器はFCC規則のパート15に準拠しています。機器の操作は次の2つの条件を前提としています：

- (1) これらの機器は有害な電波障害の原因となってはならない。
- (2) これらの機器は誤動作の原因となる電波障害を含め、受信する電波障害を許容しなければならない。

ヘルプデスク&テクニカルサポート

support.swann.comのSwannサポートセンターをご覧ください。専用のカスタマーサポートに製品を登録し、ガイドをダウンロードし、よく寄せられる質問に対する回答を見つけることができます。



製品登録



カスタマーサポート



製品マニュアル



よくある質問



サポート コミュニティ